



## 2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月14日

上場会社名 株式会社 リンガーハット 上場取引所 東 福  
 コード番号 8200 URL https://www.ringerhut.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 佐々野 諸延  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田 昌広 TEL 03-5745-8611  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第3四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	25,031	△1.8	△1,207	—	1,468	—	657	—
2021年2月期第3四半期	25,494	△27.7	△4,235	—	△4,445	—	△7,323	—

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 647百万円 (—%) 2021年2月期第3四半期 △7,403百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	26.01	—
2021年2月期第3四半期	△294.19	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第3四半期	34,485	11,699	33.9	455.27
2021年2月期	35,786	9,614	26.8	384.24

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 11,678百万円 2021年2月期 9,595百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年2月期	—	0.00	—		
2022年2月期 (予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,600	1.6	△1,300	—	1,250	—	640	—	25.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	26,067,972株	2021年2月期	26,067,972株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	416,063株	2021年2月期	1,110,772株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	25,282,738株	2021年2月期3Q	24,894,637株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 本資料のサマリー情報、【添付書類】2ページ「経営成績に関する説明」及び9～10ページ「セグメント情報等」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、緊急事態宣言が解除されたことにより経済回復が期待されておりますが、変異株の発生及び拡大懸念や資源価格高騰など、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、営業時間の短縮要請が解除されたことにより、一部で持ち直しの動きが見られるものの、依然として厳しい経営環境が続いております。

当社グループでも新型コロナウイルス感染症対策として、従業員のマスク着用、個人衛生チェックの徹底、アルコール消毒液の店内設置及び客席へのパーテーション設置などを引き続き実施しております。

このような状況の中、当社は食の「安全・安心・健康」の向上に継続して取り組んでまいりました。また、『全員参加で、創業60周年に向けて前進しよう』をスローガンに、企業価値向上に努めてまいりました。

コロナ禍の施策としては、お客様の消費スタイルの変化に伴いテイクアウトやデリバリー販売を強化するための出前代行サービスの選択肢を拡充するとともに、その対応可能店舗を拡大いたしました。

出退店につきましては、国内では1店舗を出店し11店舗を退店、海外では3店舗を退店いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は、国内682店舗、海外9店舗の計691店舗（うち直営店舗498店舗、フランチャイズ店舗193店舗）となりました。

既存店の売上高につきましては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を発出された都道府県を中心に、酒類販売自粛や店舗営業時間短縮を余儀なくされましたが、テイクアウトやデリバリー販売の売上高が伸びたこともあり、当社グループ全店舗計で、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は108.1%となりました。

営業外収益には、営業時間短縮要請に係る時短協力金等を補助金収入として29億24百万円を計上しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は250億31百万円（前年同期比1.8%減）、営業損失は12億7百万円（前年同期営業損失42億35百万円）、経常利益は14億68百万円（前年同期経常損失44億45百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億57百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失73億23百万円）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### (長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、新ビジョン「Ideal Dining宣言～あなたの理想の食卓へ～」のもと、新たなブランドメッセージである、おいしい野菜を食べる楽しさを伝える「モグベジ食堂」を象徴する商品「彩り野菜のちゃんぽん」「彩り野菜の皿うどん」を継続して販売しております。また、期間限定メニューとして「牡蠣ちゃんぽん」を販売いたしました。

出退店につきましては、国内では1店舗を出店し11店舗を退店、海外では3店舗を退店した結果、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は、国内で595店舗、海外で7店舗の計602店舗（うちフランチャイズ店舗176店舗）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は110.2%となり、売上高は199億24百万円（前年同期比0.7%増）、営業損失は11億8百万円（前年同期営業損失37億26百万円）となりました。

#### (とんかつ事業)

「とんかつ事業」では、秋冬の季節メニューとして広島県産牡蠣を使用した「牡蠣ふらい」メニュー4種類を販売いたしました。また、年末年始に向け、昨年ご好評いただいた「お一人さま重」の販売を開始いたしました。

出退店はありませんでしたので、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は国内で87店舗（和食業態の長崎卓袱浜勝、とんかつ大學を含む）、海外で2店舗の計89店舗（うちフランチャイズ店舗17店舗）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は100.7%となり、売上高は49億97百万円（前年同期比10.3%減）、営業損失は1億88百万円（前年同期営業損失5億75百万円）となりました。

#### (設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業は、当社グループ内における直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全などが主な事業内容であり、当第3四半期連結累計期間の売上高は12億38百万円（前年同期比13.2%減）、営業利益1億22百万円（同19.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億円減少し344億85百万円となりました。これは主に退店による有形固定資産の減少によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ33億85百万円減少し227億86百万円となりました。これは主に長期借入金の減少及び消費税の支払猶予分納付による未払消費税等の減少によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ20億84百万円増加し116億99百万円となりました。これは主に新株予約権行使により自己株式を16億41百万円処分したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想につきましては、2021年10月14日に発表した前回予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,348,621	7,771,334
売掛金	994,943	1,185,242
商品及び製品	168,526	190,797
仕掛品	17,393	14,425
原材料及び貯蔵品	331,195	293,547
前払費用	247,601	241,546
未収入金	982,237	767,630
その他	196,792	234,888
貸倒引当金	△83,122	△80,981
流動資産合計	11,204,187	10,618,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,804,782	10,497,713
機械装置及び運搬具(純額)	1,778,590	1,756,397
土地	5,828,410	5,828,410
リース資産(純額)	116,420	95,339
建設仮勘定	26,083	12,696
その他(純額)	780,404	733,694
有形固定資産合計	19,334,692	18,924,252
無形固定資産	419,501	460,685
投資その他の資産		
投資有価証券	539,830	542,461
繰延税金資産	300,518	324,588
退職給付に係る資産	68,368	73,476
差入保証金	1,012,128	844,893
建設協力金	66,307	58,758
敷金	2,542,302	2,309,954
その他	316,963	328,388
貸倒引当金	△18,748	—
投資その他の資産合計	4,827,670	4,482,520
固定資産合計	24,581,865	23,867,458
資産合計	35,786,052	34,485,890

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	792,280	854,190
1年内償還予定の社債	316,000	232,000
1年内返済予定の長期借入金	2,952,365	2,926,820
リース債務	99,607	97,743
未払金	961,443	706,629
未払費用	1,289,938	1,417,540
未払法人税等	168,800	698,329
未払消費税等	856,593	291,973
株主優待引当金	113,514	85,939
店舗閉鎖損失引当金	96,384	718
販売促進引当金	8,811	—
資産除去債務	97,177	1,933
その他	454,984	508,091
流動負債合計	8,207,900	7,821,909
固定負債		
社債	282,000	50,000
長期借入金	13,818,578	11,647,509
長期未払金	543,420	53,772
リース債務	242,240	214,440
株式給付引当金	143,298	137,832
退職給付に係る負債	837,071	844,105
長期預り保証金	379,400	353,367
資産除去債務	1,542,491	1,534,908
繰延税金負債	55,046	47,037
その他	120,314	81,814
固定負債合計	17,963,864	14,964,789
負債合計	26,171,764	22,786,699
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,002,762	9,002,762
資本剰余金	7,013,102	2,277,774
利益剰余金	△3,963,448	1,224,216
自己株式	△2,599,481	△952,835
株主資本合計	9,452,935	11,551,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,813	131,368
為替換算調整勘定	△14,551	9,937
退職給付に係る調整累計額	37,380	△14,605
その他の包括利益累計額合計	136,642	126,700
新株予約権	5,632	1,495
非支配株主持分	19,078	19,078
純資産合計	9,614,288	11,699,191
負債純資産合計	35,786,052	34,485,890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	24,724,556	24,244,046
売上原価	9,533,230	9,078,614
売上総利益	15,191,326	15,165,432
その他の営業収入	770,344	787,664
営業総利益	15,961,671	15,953,097
販売費及び一般管理費	20,197,661	17,160,978
営業損失(△)	△4,235,990	△1,207,881
営業外収益		
受取利息	2,322	2,267
受取配当金	7,915	8,483
未回収利用券受入益	11,839	—
違約金収入	25,000	—
受取補償金	—	13,986
補助金収入	—	2,924,878
その他	53,309	17,986
営業外収益合計	100,386	2,967,601
営業外費用		
支払利息	53,737	213,081
為替差損	14,197	24,086
リース解約損	39,946	13,565
持分法による投資損失	50,187	4,680
支払手数料	135,933	19,319
その他	16,026	16,795
営業外費用合計	310,028	291,528
経常利益又は経常損失(△)	△4,445,632	1,468,191
特別利益		
固定資産売却益	793,350	488
店舗閉鎖損失引当金戻入額	829	4,678
その他	2,000	—
特別利益合計	796,180	5,167
特別損失		
固定資産売却損	3,818	—
固定資産除却損	83,126	43,711
店舗閉鎖損失	79,280	5,083
店舗閉鎖損失引当金繰入額	165,300	—
減損損失	1,802,424	19,754
その他	3,125	—
特別損失合計	2,137,075	68,549
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△5,786,527	1,404,809
法人税等	1,537,297	747,150
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,323,825	657,658
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,323,825	657,658



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,323,825	657,658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,048	17,554
為替換算調整勘定	△28,202	20,599
退職給付に係る調整額	△69,968	△51,985
持分法適用会社に対する持分相当額	△36	3,889
その他の包括利益合計	△80,159	△9,942
四半期包括利益	△7,403,985	647,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,403,985	647,716

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

①当社は、2021年5月25日開催の第57期定時株主総会の決議により、2021年5月25日付で、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金3,532,935千円を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替え、また、会社法第452条の規定に基づき、振り替え後のその他資本剰余金4,530,006千円を減少し、同額を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行いました。なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

②当社は、2021年1月26日付発行の第1回新株予約権(モルガン・スタンレーMUF G証券株式会社を割当先とする第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権)の一部行使による自己株式の処分を行いました。これにより、資本剰余金が205,321千円減少し、自己株式が1,641,806千円減少いたしました。これらの結果等により、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金は2,277,774千円、自己株式は△952,835千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大は当社の事業活動にも大きな影響を及ぼしています。今後も当社の事業に影響が及ぶことが想定されますが、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期の見通しにつきましては2021年度中にかけて影響が続くと想定しております。

当社グループはこの仮定のもと、固定資産の減損会計の適用や繰延税金資産の回収可能性の判断など会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高(注) 3						
外部顧客への売上高	19,786,086	5,568,872	139,942	25,494,901	—	25,494,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,286,267	1,286,267	△1,286,267	—
計	19,786,086	5,568,872	1,426,209	26,781,168	△1,286,267	25,494,901
セグメント利益 又は損失(△)	△3,726,494	△575,389	102,350	△4,199,533	△36,457	△4,235,990

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△36,457千円には、セグメント間取引消去10,570千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△47,028千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスであり、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は1,486,618千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスであり、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は315,805千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2021年3月1日 至 2021年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高(注) 3						
外部顧客への売上高	19,924,991	4,997,558	109,160	25,031,711	—	25,031,711
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,128,959	1,128,959	△1,128,959	—
計	19,924,991	4,997,558	1,238,120	26,160,670	△1,128,959	25,031,711
セグメント利益 又は損失(△)	△1,108,422	△188,579	122,532	△1,174,469	△33,411	△1,207,881

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△33,411千円には、セグメント間取引消去16,171千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△49,583千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中の減損損失の計上額は19,754千円です。

「とんかつ」セグメントにおいて、該当事項はありません。

### 3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
2022年 2月期 第3四半期	売上高 (百万円)	15,990	5,721	21,711	4,531	1,108	5,639	1,697	126	29,173
連結累計 期間	店舗数 (店)	426	176	602	72	17	89	—	—	691
2021年 2月期 第3四半期	売上高 (百万円)	16,210	5,622	21,833	5,104	1,111	6,216	1,266	209	29,525
連結累計 期間	店舗数 (店)	468	196	664	76	18	94	—	—	758
対前年比率	売上高	98.6%	101.8%	99.4%	88.8%	99.7%	90.7%	134.0%	60.3%	98.8%
	店舗数	91.0%	89.8%	90.7%	94.7%	94.4%	94.7%	—	—	91.2%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粋比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。